

考えるテーブル

# 四ツ谷四方山考現学

よつやよもやまこうげんがく

～杜の都のつくりかた

水の都のつくりかた～

「四ツ谷用水」って聞いたことありますか？東京の怪談で有名なところ…ではなく、約400年前、洪積台地上に立地し水の便が悪かった当時の仙台の町を隅々まで潤すために、伊達政宗が作らせた水路です。

考えるテーブル「四ツ谷四方山考現学」では、かつて仙台北下を縦横無尽に流れていた四ツ谷用水について、これまでの歴史や懐かしさだけに留まらず、現在の、そしてこれからのあり方まで、皆さんといろいろな視点から語り合いたいと考えております。

四ツ谷用水について初めて耳にするかたも、もっと知りたいというかたも、どうぞ気軽にご参加ください。

## 第1回「四ツ谷用水のドボクなおはなし」

おはなし **柴田 <sup>たかし</sup>尚さん**「仙台・水の文化史研究会」会長  
平成25年1月26日(土) 14時～15時30分

会場 **せんだいメディアテーク7階 スタジオa**  
参加無料(申し込み不要)  
当日直接会場へおこしてください。  
(第2回は平成25年3月17日(日) 予定)

主催：四ツ谷用水再発見懇話会／せんだいメディアテーク

事務局：仙台市環境局環境対策課

問い合わせ：仙台市環境局環境対策課水質係

TEL：022-214-8223 FAX：022-214-0508

考えるテーブルとは

人が集い語り合いながら震災復興や地域社会、表現活動について考えていく場を「考えるテーブル」と題して7階スタジオに開きます。



<http://www.smt.jp/thinkingtable2012/>

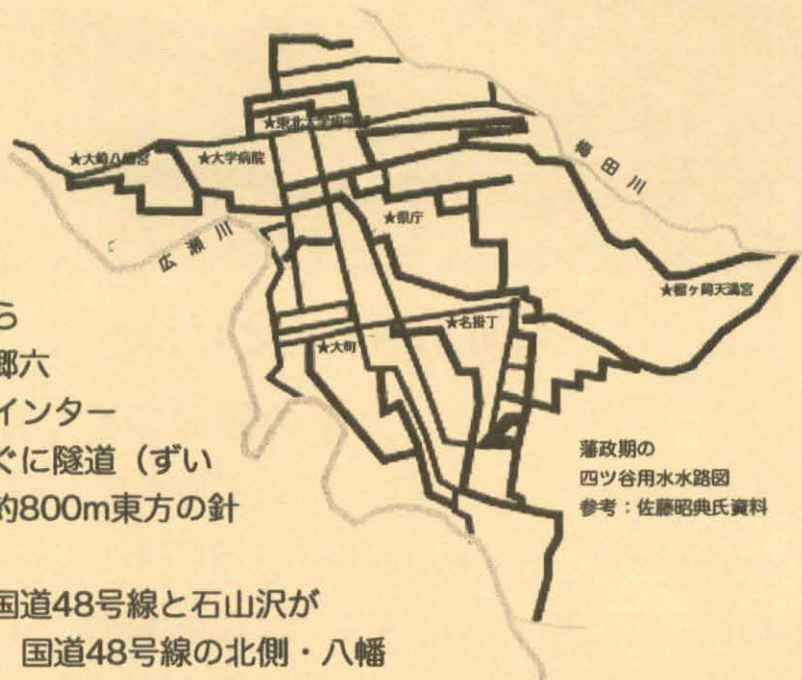
この用紙はリサイクルできます

## 四ツ谷用水って？

四ツ谷用水は伊達政宗公が城下の水利の不便さを憂い、家臣川村孫兵衛重吉に命じて広瀬川の水を城下に導くために作らせたものです。用水路は、郷六（東北自動車道・仙台宮城インター近辺）にある取水口からすぐに隧道（ずいどう・トンネル）となり、約800m東方の針金地区に顔を出します。

そこから直角に北進し、国道48号線と石山沢が交わる所でまた地中に潜り、国道48号線の北側・八幡地区を経て市内を縦横に巡る生活用水として使用されました。

高度成長期以降、ほとんどの部分が暗渠化（川や用水を地下に埋めたり覆いをかぶせて地上から見えなくすること）されてしまいました。現在は、「四ツ谷の水を街並みに！」市民の会の活動で設置された標柱や、勾当台公園などのモニュメントに当時の四ツ谷用水をしのぶことができます。



藩政期の  
四ツ谷用水水路図  
参考：佐藤昭典氏資料

## 柴田 尚さん プロフィール

- 「仙台・水の文化史研究会」会長  
昭和21年3月3日生まれ、愛知県岡崎市出身

上下水道技術者として主に国及び地方自治体の下水道事業の設計コンサルタント業務に従事。1992年（平成4年）の地球サミット“環境と開発に関する国際連合会議”で宣言された“持続可能な開発”という言葉に衝撃と感動を覚える。

以来、このことを意識して行動してきたが、いろいろな利害がからんで難しいところが多いことを痛感する。いまは、“水と環境の問題”は“人間の生活活動と産業活動そのもの問題である”という理解に至っている。

調査研究活動のベースは「仙台・水の文化史研究会」、そして捉える感性の練磨と自己表現の手段として画家活動をしている。

## 会場アクセス

**sendai mediatheque**

住所 〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1

アクセス 仙台市営バス 仙台駅前-29番（荘内銀行前）のりばから「定禅寺市役所前経由交通局大学病院」行き（系統番号J410）で約10分、メディアテーク前下車

